

# 図書館だより

## 目次

図書館だより150号によせて	—島崎 恒藏	1
図書館で働いて	—田口 令子	2
「日本女子大学図書館だより」巻頭言一覧 No.101 (1998.3)~No.150 (2014.6)		3
館内スタンプラリーに参加しよう!	—中澤 恵子	5
大学図書館 Web 版利用者アンケート結果をふまえた サービス向上への取り組み	—中曽根 緑	6
図書館からのお知らせ		8



新しくなった情報検索コーナー (目白)

## 図書館だより150号によせて

島崎 恒藏

「図書館だより」は、本号で150号に達した。1号から150号に至るまで50年が経過したことになる、この節目に大学図書館の流れを振り返ってみるのも、意味があることと思われる。

創立60周年の記念事業の一環として大学図書館（現在の目白図書館）が開館したのが1964年（昭和39年）6月23日の成瀬仁蔵先生の生誕日であり、そして同年の10月20日に「図書館だより」の第1号が発行された。爾来、図書館だよりは定期刊行物として発刊を続け、1982年（昭和57年）の2月1日に第50号が、1997年（平成9年）の12月1日に第100号が発行されている。

1964年以前の大学図書館の変遷については、第100号に「図書館断章」と題して当時の西村圭子館長によって詳細に述べられている。この中では本学草創期の苦難の中で、蔵書の充実のために成瀬校長や桜楓会を始め関係者が、いかに献身的な努力をしたかが理解できる。

開館当時の大学図書館は、斬新な開架式図書館としてオープンした。この全館開架式は9月13日付の朝日新聞にも取り上げられ、また第1号の巻頭言においては、篠崎茂穂図書館主事が「新図書館は参観者が多くなってきている」ことを述べておられ、新図書館が大学図書館界の注目を引く存在であったことがわかる。篠崎茂穂主事の巻頭言では、ファーズ博士の「学生諸氏、図書館員及び教授陣がこの美事な建物を今後どうあつかうかにかかっている」との開館式の祝辞を紹介している。この言は今日でも、図書館関係者・利用者が常に意識しておくべきことであろう。

図書館だよりの第100号には、当時の宮本美沙子学長が寄稿されている。西生田キャンパスに人間社会学部が開設されて図書館にコンピュータシステムが導入されたことと、600名の会員を有する図書館友の会（同会は昨年解散し、上代タノ平和文庫の維持・管理は全面的に大学図書館へ移管）、蔵書冊数57万冊超（現在は85万冊超）などの記述は、読み返してみると感慨深いものがある。また「スペースは狭隘化しており、図書館の増改築は検討課題」との記述も見られる。

設立して半世紀を超えた大学図書館は、120周年事業との関連もあり、新たな転換点に立っている。昨年の秋に実施したアンケート調査（LibQUAL<sup>+</sup>®）においても、学生・教職員の大学図書館への期待と強い要望が浮かび上がっている。伝統を継承しつつも、新しい時代の本学らしい図書館の実現は、学園関係者共通の願いである。

(図書館長・被服学科教授)

## 図書館で働いて

田口 令子

「日本女子大学図書館だより」No.87 (1993.6) からNo.125 (2006.3) の期間、編集を担当した。No.90 (1994.6) \* 『現図書館開館30周年記念特集号』 「<座談会>図書館、この30年、そして」では、歴代図書館長 (第5代福田館長、第6代青山館長、第7代徳末館長、第8代佐藤館長、第9代石川館長) との座談会で、現図書館開館後30年を振り返った。巻頭のカット『運用妙存一心』は、上村美紗子元事務部長の直筆。No.91 (1995.1) \* 『現図書館開館30周年記念特集号Ⅱ 現図書館開館30周年記念講演会 シンポジウム夢のある図書館づくり』は、建築家内井昭蔵氏、早稲田大学戸山図書館担当課長三浦育子氏、東京女子大学図書館事務部長宮島太郎氏の講演会とパネルディスカッションの記録である。内井昭蔵氏は、附属豊明小学校新校舎の設計をされた。No.100 (1997.12) \* 『No.100記念特集号』では、現図書館建設を推進された上代たの先生 (第6代学長) の特集を企画。当時水嶋編集委員と一緒に、石川ムメ氏のご自宅をお尋ねしてお話を伺った。「上代先生追想 石川ムメ氏にきく—“定礎”の字によせて— (水嶋寿恵)」で、【「ユリノキのお隣にクスノキがあるでしょ。あれはね上代先生が入学した時の記念樹なの。」一略—クスノキは上代先生のいらした7回生、ユリノキは10回生によるそうである。】と書かれている。No.109 (2000.11) \* 『西生田図書館開館10周年』にあたり、西生田図書館10年間の統計、年表などを掲載した。No.111 (2001.6) \* 日本女子大学は創立100周年を迎え、「日本女子大学の図書館史に関する文献一覧」を編集、図書館・図書室100年の歴史 (1903明治36年~2000平成12年) をたどってみた。豊明図書館、樟溪館内、その他に移転後、現図書館が1964年に建設された。巻頭の写真『昭和2年頃の図書室内風景』は、「家庭週報」第892号 (昭和2年6月) より転載。No.112 (2001.12) \* 「上代タノ平和文庫創設30周年記念展—大学100周年によせて—」を掲載。No.113 (2002.3) \* 「日本女子大学創立100周年記念特別展示《21世紀の教育をひらく》女性史をひらく—本学図書館所蔵の貴重図書より」 No.119 (2004.3) \* 住居学科鈴木賢次先生企画の展示「日本女子大学目白地区建物ウォッチング」を掲載。No.121 (2004.11) \* 「現図書館四十周年にあたって」の記念号とした。No.111 (2001.6) からNo.123 (2005.6) \* 図書館友の会総会 (第36回~第40回) 開催の記事を、毎年掲載した。

相馬文子元事務主任は、著書『司書半生 (三月書房 1988)』 「一つの図書館のあゆみ」の中で、【その頃発行した「図書館だより」増築特集号 [注. No.30 (1973.10)] に、私は「一昔」という所感を寄せている。】と書かれている。

私は私立大学図書館協会東地区部会研究部の研究分科会に、次の期間に所属した。逐次刊行物研究分科会 (1980~1983)、書誌作成研究分科会 (1984~1987)、書誌調査研究分科会 (1988~1995)、文献探索研究分科会 (1996~1997)。分科会に参加して、諸先輩からの指導を受けたり、他大学図書館の方と交流したことは、貴重な経験になった。「図書館だより」No.68 (1987.3) に、「雑誌総目次・総索引について—書誌作成分科会の発表に基づいて— (田口)」を寄稿した。雑誌「青鞥」復刻版の総目次は、四出版社 (至文堂、弘文堂、龍溪書舎、不二出版) から発行されていて、「青鞥」四総目次の比較評価の作業を行った。

2011 (平成23) 年度、2012 (平成24) 年度において、当館は私立大学図書館協会の分科会更新担当・会報担当の理事校であった。「私立大学図書館協会会報」No.136 (2011.9)、No.137 (2012.3)、No.138 (2012.9)、No.139 (2013.2) の編集と発送 (全国約530図書館他) を担当して、他大学図書館の方とも交流できる機会になった。

「夢のある図書館づくり」の課題、図書館の歴史はこれからも続いていく。

(元館員・前情報受入課長)

## 「日本女子大学図書館だより」巻頭言一覧 No.101 (1998.3) ～ No.150 (2014.6)

「図書館だより」は、本号で第150号の発行を迎えることができた。1964年、現目白図書館の開設と同年の創刊以来、歴代の図書館長、学長をはじめとする多くの先生方に、毎号巻頭言をお寄せいただいている。創刊号から100号まで（1964年から1997年）の巻頭言一覧は、100号（No.100記念特集号）にとりまとめて掲載し、節目の記事については再掲させていただいた。今回は101号以降、本号までの巻頭言のタイトルと執筆者の一覧をまとめた。第101号の発行はまだ20世紀のことであったかと思うと、感慨深いものがある。

ここにとりまとめた101号以降の記事は、執筆者のご専門を通じた図書館に関するトピックをお寄せいただいていることが多い。図書館の歴史や役割、海外事情など多方面にわたる記事を毎号お届けできるのは、編集委員としても大きな喜びである。

97号以降の記事は、インターネット上でもお読みいただくことができる。ここに、ご寄稿いただいた方々に感謝すると共に、興味を持たれた記事にぜひアクセスして見ていただきたく、ご案内する次第である。

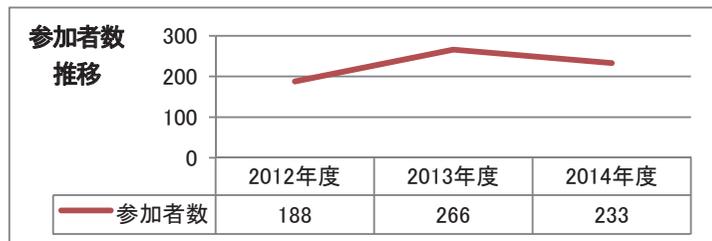
〈No.〉	〈年月日〉	〈題目〉	〈執筆者名〉
101	1998/ 3/10	東アジアの語り部「歴代宝案」	西村 圭子 第10代館長
102	1998/ 7/10	奎章閣と『朝鮮王朝実録』（李朝実録）	西村 圭子
103	1998/11/20	幕末の危機管理 —「蕃書調所」の文書から—	西村 圭子
104	1999/ 3/15	本と人と出会う	西村 圭子
105	1999/ 6/23	ライブラリーで過ごす時間	出淵 敬子 第11代館長
106	1999/11/20	本を借りて読む —貸し本屋から公共図書館へ—（前篇）	出淵 敬子
107	2000/ 3/15	本を借りて読む —貸し本屋から公共図書館へ—（後篇）	出淵 敬子
108	2000/ 6/23	ヴィクトリア朝の女性読者 —最良の読書法とは？—	出淵 敬子
109	2000/11/25	西生田図書館開館十周年を迎えて	出淵 敬子
110	2001/ 3/15	本と向き合うところ	出淵 敬子
111	2001/ 6/23	創業者成瀬仁蔵先生の読書論	出淵 敬子
112	2001/12/15	21世紀の図書館	後藤 祥子 第11代学長
113	2002/ 3/15	イギリスの公共図書館	出淵 敬子
114	2002/ 6/23	国際子ども図書館を訪ねて	出淵 敬子
115	2002/11/15	読書する女性	出淵 敬子
116	2003/ 3/15	国立国会図書館関西館を訪ねて	出淵 敬子
117	2003/ 6/23	楔形文字粘土板と古代の司書たち	新海 邦治 第12代館長
118	2003/11/20	歴史に翻弄された Corpus Aristotelicum	新海 邦治
119	2004/ 3/15	古代ペルガモン王家の図書館	新海 邦治

〈No〉	〈年月日〉	〈題目〉	〈執筆者名〉
120	2004/ 6/23	プトレマイオス王朝の学術研究センター	新海 邦治
121	2004/11/15	現図書館四十周年にあたって	新海 邦治
122	2005/ 3/15	アレクサンドレイア図書館の終焉	新海 邦治
123	2005/ 6/23	古代ローマの図書館	新海 邦治
124	2005/11/15	エベソスのギリシア神殿とローマ図書館	新海 邦治
125	2006/ 3/15	学都アテナイのハドリアヌス図書館	新海 邦治
126	2006/ 6/23	アンナ・アマリア公妃図書館炎上す	西山 力也 第13代館長
127	2006/11/15	ゲーテ＝シラー文書館	西山 力也
128	2007/ 3/15	チューリンゲン国立中央公文書館	西山 力也
129	2007/ 6/23	ニーチェ文書館	西山 力也
130	2007/11/15	シラーハウス	西山 力也
131	2008/ 3/ 5	ゲーテと図書館	西山 力也
132	2008/ 6/23	第3の場所としての大学図書館	田中 功 第14代館長
133	2008/11/20	生涯につなぐ図書館の力	田中 功
134	2009/ 3/ 5	究極的な大学図書館の地域開放	田中 功
135	2009/ 6/23	図書館を変える賑わうエリア	田中 功
136	2009/11/20	借りた図書の延滞が与える社会的影響	田中 功
137	2010/ 3/ 5	OPAC の鍵を開けるには	田中 功
138	2010/ 6/23	学生と図書館	島崎 恒藏 第15代館長
139	2010/11/15	二十周年の節目にあたって	島崎 恒藏
140	2011/ 3/ 3	IT と図書館	島崎 恒藏
141	2011/ 6/23	大震災が投げかけた影	島崎 恒藏
142	2011/11/15	図書館を維持する力の結集を	島崎 恒藏
143	2012/ 3/ 5	図書館統計を読む	島崎 恒藏
144	2012/ 6/23	「学問における真理」について	島崎 恒藏
145	2012/11/15	紙文化は永久（とわ）に	島崎 恒藏
146	2013/ 3/ 5	VERITAS VIA VITAE と大学図書館	島崎 恒藏
147	2013/ 6/20	「日本女子大学図書館友の会」の 解散を惜しむ	島崎 恒藏
148	2013/11/15	資料保存の在り方を問う	島崎 恒藏
149	2014/ 3/ 3	最近の図書館について思うこと	島崎 恒藏
150	2014/ 6/23	図書館だより150号によせて	島崎 恒藏

(図書館課長 浜口 都紀)

## 館内スタンプラリーに参加しよう！

日本女子大学図書館（目白）では、2012年度から、4月中（新入生図書館利用カード交付開始日～4月最終開館日）に館内スタンプラリーを実施している。毎年好評を博し、今年で3回目となる。目的は主として学生（特に新入生）に図書館内を知ってもらい来館を促すこと、図書館に親しみをもってもらうことである。



スタンプ設置場所目印

参加者は所定用紙（2階カウンターで登録手続きをした利用者に配付、館内にも配置）を参考に館内を巡って7～8か所に設置

### 全スタンプ押印用紙に現れるワード

されたスタンプ全てを押印し、2階カウンターに申し出て、参加賞を選ぶ。全スタンプ押印用紙に現れるワードには、毎年、印象づけたい言葉を選んでいる。

スタンプ設置場所には、コメントつき目印（右上図参照）を立て、スタンプラリーセット（スタンプは全色異なるパステルカラー）を置く。設置場所は

年度	ワード	説明
2012	veritas	図書館の正面玄関に掲げられている言葉「VERITAS VIA VITAE」より。
2013	my jwulis	利用状況の確認、貸出更新、貸出中図書予約、目白・西生田間図書館所蔵図書取り寄せなどをインターネット上で行うことができるシステム。
2014	jasmine*	2014年3月図書館利用者用パソコン更新に伴い登場したJASMINE 端末より。JASMINE アカウントでログイン。学術情報検索、Office2013、ホームドライブが使用可能

毎年変えるが、利用者に知らせたい場所を選ぶため、重なる部分もある。スタンプラリー実施期間

### スタンプ設置場所一覧

	2012年度	2013年度	2014年度
①	2階地図台	2階外国語語学辞書付近	2階洋書 R700書架辺り『Webster's dictionary』
②	3階通信教育図書室	3階和書	2階情報検索コーナー
③	4階O.S.(大型本書架)『エジプトの秘宝』	4階O.S.(大型本書架)『Biblia Sacra』	3階和書閲覧室東側
④	4階グループ研究室 A	4階階段わき書架(洋書 Readers)	4階O.S.(大型本書架)『Nippon』
⑤	4階～5階への踊り場	4階グループ研究室 B	4階洋書000付近書架
⑥	5階入口	4階～5階への踊り場	4階グループ研究室 C
⑦	1階入口	5階入口	5階入口
⑧		1階入口	1階入口

中は学生グループが楽しそうに参加する姿を目にするのも多く嬉しい限りである。

図書館（目白）玄関ホール展示「図書館を探検しよう！」の中にヒントを入れ、書架では広げにくい大型本を付

近の閲覧席に展示し、スタンプ設置場所とするなど工夫も重ねている。

今後も次の利用につながるような図書館の魅力を提示していきたいと思っている。

（館員・閲覧係 中澤恵子）

## 大学図書館 Web 版利用者アンケート結果をふまえたサービス向上への取り組み

大学図書館では、2013年10月～11月に学生、大学専任教員、専任職員を対象として Web 版利用者アンケート「LibQUAL<sup>+</sup>®」を実施した。結果報告は図書館ホームページに掲載済である（概要：2014年1月30日、詳細：2014年3月31日）。『図書館だより』では、前号（No.149）の概要報告に続き、今号では、自由記述欄の集計結果のあらましを報告するとともに、結果から読み取れる課題への取り組み状況をお知らせする。

### 1. 自由記述欄の集計結果

自由記述欄には、回答者の約半数にあたる296名からコメントが寄せられた。コメントに複数の目白・西生田別、内容別件数・割合  
内容を含むものは内容別に分割し、「よく使う図書館」別に分けた結果は左表のとおりである。

	目白		西生田	
	件数	割合	件数	割合
蔵書(紙・電子)	68	23%	52	35%
施設・設備	97	33%	26	18%
サービス全般	55	18%	35	24%
スタッフ対応	33	11%	19	13%
システム関係	16	5%	5	3%
その他	29	10%	11	7%
計	298		148	

これまで様々な機会に図書館に寄せられた意見の内容は、主として目白では施設・設備に関するもの、西生田では蔵書に関するものが多い傾向にあったが、このたびも、同様の傾向が見られる。

#### 主な意見

##### <蔵書(紙・電子)>

目白・西生田とも、「専門分野に関する蔵書(紙・電子)の充実」への要望が最も多かった。続いて、「蔵書が少ない、古い」という意見、「教養図書、小説、新聞、DVD等」への希望が寄せられた。西生田では「目白の蔵書数と差がある」とのコメントも多かった。良い評価(書籍の数・種類は概ね満足等)もあった。

##### <施設・設備>

目白では「パソコン台数、機能向上(Wi-Fi希望含む)への要望が最も多く、続いて、「空調(寒い、暑い)、換気」「照明(暗いなど)」の改善希望が多かった。「館内での飲食」、「建て替え」、「全館的なバリアフリー化」等へのコメントも寄せられた。西生田では「空調(寒い、暑い)、換気の改善」「パソコンの台数、機能向上」の順に要望が多かった。目白・西生田とも「静かで落ち着ける」等の良い評価もあった。

##### <サービス全般>

目白・西生田とも、「資料へのアクセス改善(資料の配置がわかりにくい、探しにくい等)」への意見が最も多かった。関連して、「掲示物の改善や既存サービスの周知」等を望む声が寄せられた。続いて、「貸出規則の改善(学部生の貸出冊数が少ない等)」、「開館期間・時間の拡大」、その他(プリントアウト関係、相互利用協定等)多様な意見が出された。「講習会が役立つ」、「学生が読みたい本」等の企画が良い、「サービスは概ね満足」等の良い評価もあった。

##### <スタッフ対応>

目白において「そっけない、不親切、ミスがあった、対応に差がある等」の意見が出された。目白・西生田とも「マナー違反(私語等)を注意して欲しい」との声も寄せられた。スタッフ対応に関するコメントのうち、目白では約6割、西生田では約9割が良い評価(丁寧、親切、信頼できる、知識が豊富等)であった。

##### <システム関係>

「電子ジャーナル、データベースへの学外からのアクセス」への要望が最も多かった。特に目白において顕著である。続いて、OPACや図書館ホームページ(My JWULIS関係を含む)への意見が寄せられた。

## <その他>

特に要望が集中した内容はなく、中長期計画策定、情報公開、効率的な業務体制、購入資料の登録方法、安全性、学生サービスのための予算確保など多様な意見が出された。アンケートへの意見（答えにくい、結果を改善に結びつけてほしい等）もあった。図書館への感謝と期待も多数寄せられた。

### 2. 課題への取り組み

アンケート結果から読みとれる本学図書館の課題は、短期で対応が可能なものから、中長期的な取り組みが必要なもの、図書館の建て直し等という学校法人の全学的構想のもとで検討されるべきものまで多岐にわたっている。対応可能なものは迅速に改善に取り組むとともに、将来のあるべき図書館像検討の材料としても今回の結果を役立てるよう努めていきたい。また、現在実施しているサービスの周知不足により寄せられた意見も散見され、サービス内容の伝え方も改善を要するところである。今回は現時点での状況を記すが、対応の全体は図書館ホームページ上に掲載し順次お知らせしていくこととする。

#### (1) 蔵書・情報

「実際」が「許容範囲」に達していないとの評価が特に多かったのは「蔵書・情報」であり、学部生、大学院生、教員に共通している。学部生に比して、大学院生・教員は「電子ジャーナルやデータベースの充実」ならびに「自宅等からの電子資源へのアクセス」への要望が高い。

##### ・各学科教員による専門分野図書所蔵状況調査（2014年秋予定）

各学科1名の教員に専門分野等の図書館蔵書を見ていただき意見を伺う。

##### ・購入希望図書、推薦図書、学生が読みたい本の周知

図書館利用者が学習・研究上必要とする「購入希望図書」、教員からの「推薦図書」は通年受付。2014年度「学生が読みたい本」は5月、10月の一定期間に受付。

##### ・学外文献複写申し込み手続きの簡略化（実施済の教職員に加え、大学院生による Web 上での学外文献複写申し込み開始）（2014年5月～）

##### ・自宅等からの電子資源へのアクセスについて学内関係部署と調査・検討予定

#### (2) 学習・研究場所

学部生からの「場所」への要望が高かった。大学院生からも「蔵書・情報」に次ぎ「場所」への要望が寄せられている。「学習・研究意欲をかきたてられるような場所」「快適で、また行きたくないような場所」が求められている。

##### ・利用者用パソコン更新ならびに新設定機（JASMINE 端末）設置・利用促進（2014年3月～）

JASMINE 端末（JASMINE アカウントでログインする図書館利用者用パソコン）では、学術情報検索の他、Word, Excel, PowerPoint, ホームドライブが使用可能。

##### ・ペットボトルや水筒など蓋が完全に閉まる容器に入った飲み物の閲覧室での摂取可（2014年4月～）

##### ・図書館（目白）の照明、4階の利用者用スペース拡大について学内関係部署と検討予定

#### (3) サービス全般

自由記述において様々な意見が寄せられている。

##### ・通学課程学部生の貸出規則改正（2014年4月）

冊数：5冊 → 8冊，期間：1ヶ月 → 21日

##### ・通信教育課程学生の図書館利用登録方法、認証方法の変更（2014年4月）

##### ・資料検索等に関する講習会の実施

2014年度も開催（「図書館ホームページ」 - 「講習会等のお知らせ」参照）



講習会風景

（図書館事務部長 中曽根緑）

図書館からのお知らせ

日本女子大学図書館  
サービス向上への取り組み  
(2013年4月～2014年4月)

<2013年度>

- 泉会会員、附属校園の在學生・園児の保護者、附属中高生による大学図書館利用（資料閲覧）開始（4月、目白会会員7月）
- 地域開放（資料閲覧）開始（目白：文京区民 4月）（西生田：川崎市多摩区民 6月）
- 館内スタンプラリー2013実施（目白、4月）
- 「学生が読みたい本」実施（5月・11月）
- 玄関ホール特別展示：「貴重書『源氏物語』」（目白、5月・11月）
- Web版利用者アンケート「LibQUAL<sup>+</sup>」実施（10月～11月）
- 跡見学園女子大学図書館との相互利用協定施行（11月）
- 各学科（教員1名）より専門分野の図書館所蔵資料への意見聴取（11月）
- 図書館システム「iLiswave-J V2」バージョンアップ（11月）OPACの操作性向上等
- 利用者用パソコン更新・新設定機（JASMINE 端末）設置（3月）

<2014年度>

- 通学課程学部生の貸出規則改正（冊数5冊→8冊、期間1ヵ月→21日）（4月）
- 通信教育課程学生の図書館利用登録方法、認証方法の変更（4月）
- 日本女子大学学術情報リポジトリ本公開（4月、試験公開2013年10月）
- ペットボトルや水筒など蓋が完全に閉まる容器に入った飲み物の閲覧室での摂取可（4月）
- 館内スタンプラリー2014実施（目白、4月）

2013年度実施した利用者向け講習会

大学スケジュールとして実施

- ・1年次オリエンテーション<目白・西生田>  
スライド上映：4/3 目白・西生田  
図書館案内：4/3 西生田（自由参加形式80名参加）

教員からの依頼等により授業時間内に実施

<目白> 計32回529名

- 児童1回7名 被服1回12名  
家政経済2回14名 日文3回122名  
英文21回275名 史学3回96名  
物質生物1回3名参加

<西生田> 計12回215名

- 現代社会2回35名 社会福祉4回102名  
教育2回47名 心理2回21名  
大学院社福1回7名 留学生科目1回3名

図書館主催で実施

<目白>

- ・新大学院生オリエンテーション 4/11  
家政学、文学、理学研究科 18名参加
- ・資料の探し方講習会—蔵書検索編—  
（4月～6月、10月～11月）29回64名参加

<西生田>

- ・資料検索講習会（5月～7月）  
蔵書検索編 3回3名  
DB 日本語編（CiNii）11回14名  
DB 日本語編（JDream III）1回1名  
DB 英語編（ProQuest）3回3名  
DB 英語編（PsyncINFO）4回5名  
RefWorks 日本語編 1回1名  
RefWorks 英語編 1回1名  
新聞編 1回1名参加  
新聞編を合わせて受講（内数10回13名）

今後も実施しますので、  
ふるってご参加ください。

編集後記 節目となる通巻150号にあたり、烏崎館長には記念の巻頭言をお寄せいただいた。また、田口前情報受入課長は、13年間に渡り図書館だよりの編集を担当し、貴重な記録を残してこられた。心より感謝申し上げる。この4月より、前任の中曽根部長より編集委員を引き継ぐこととなった。今後も、「図書館だより」が図書館と利用者をつなぐ場であり続けるよう、努力していく所存である。巻頭写真は、図書館入口フロアに位置する、新しくなった情報検索コーナーの様子。（浜口）